

## 会 議 録

審議会等名	令和5年度 第2回三条市文化芸術振興に関する懇談会
開催日時	令和5年11月1日(水) 午後7時から7時45分まで
開催場所	中央公民館 1階 大集会室
出席者	委員 佐藤隆司委員、橋本良嗣委員、西村邦明委員、 田村和豊委員、永桶康子委員、中村暢子委員、 椛澤伸治委員、池浦倫之委員 三条市 恋塚生涯学習課長、永井課長補佐、 岡田生涯学習推進係長、中野一般任用主事
欠席者	坂井マチ子委員、佐久間陽子委員
議題	(1) 正副会長の選出について (2) 文化振興基金を活用した文化振興事業の実績について
岡田係長	皆さま大変お疲れ様です。お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。 始めに、生涯学習課長より挨拶させていただきます。
恋塚課長	皆様、大変お世話になっております。 三条市生涯学習課長の恋塚です。 この度は、三条市文化芸術振興に関する懇談会委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございました。 委員の皆様には事前に委嘱状を送付させていただいております。 任期は令和5年10月1日から令和7年9月30日までの2年間となっておりますので、どうぞよろしく願いいたします。 さて、9月20日にリニューアルオープンした歴史民俗産業資料館に続き、来年3月30日(土)には旧図書館の建物を活用して名誉市民の顕彰コーナーと文化芸術ギャラリーを併設した歴史民俗産業資料館別館がオープンいたします。本日11月1日から30日まで愛称を募集しております。本日愛称募集チラシをお手元に置かせていただきましたので、皆様におかれましても是非、御自身での応募、他の方への周知など御協力をいただければ幸いです。 何卒よろしく願い申し上げます。
岡田係長	三条市文化芸術振興に関する懇談会設置要綱では、会議は会長が務めることとなっておりますが、現時点では会長、副会長が不在となっておりますので、会長が選出されるまでの間、事務局で司会進行をさせていただきます。 この懇談会は、「三条市における文化芸術の振興に関すること」、「三条市文化振興基金の有効な活用に関すること」、「その他市長が必要と認めた事項」について審議するものでございます。 委員定数としましては10人、任期は2年、芸術文化団体の代表者・学識経験を有する者として、三条市文化団体協会、三条市音楽協会及び三条美術協会からそれぞれ3名ずつ委嘱させていただいております。また、子ども向けの文化振興事業に取り組むため学校の協力が必要であることから、その他市長が適当と認める者として、三条市小中学校校長会から1名委嘱させていただいております。

	<p>この懇談会の設置要綱等もお手元に配布させていただいておりますので、御確認ください。</p> <p>本日、委員10名のところ、2名が都合により欠席との連絡をいただいております。</p> <p>よって、8名が出席し、三条市文化芸術振興に関する懇談会設置要綱第6条第2項の規定による半数以上が出席という要件を満たすことをここに御報告いたします。</p> <p>それでは「2自己紹介」をお願いします。 佐藤委員から名簿順に自己紹介をお願いします。</p> <p>(委員名簿順に自己紹介)</p> <p>(職員自己紹介)</p>
岡田係長	<p>続きまして、「2 議題 (1) 正副会長の選出について」でございますが、まず会長の選出をお願いしたいと思いますが、会長の選出は委員の互選により行うことと規定されておりますが適任の方がいらっしゃいましたら御推薦をお願いします。</p>
田村委員	<p>池浦委員が適任だと思います。</p>
岡田係長	<p>ただいま、池浦委員のお名前が挙がりましたが他にございませんか。それでは、会長を池浦委員に決定することに異議ありませんか。</p>
	<p>(異議なし)</p>
岡田係長	<p>異議ありませんので、ただいま、池浦委員が会長に決定しました。</p> <p>それでは、会長席にご移動いただき、池浦会長におかれましては、「就任のごあいさつ」をお願いいたします。</p>
池浦会長	<p><b>【就任あいさつ】</b></p> <p>私からお願いがあります。発言するときは挙手して、私が指名してから発言してください。それ以外で発言した場合は議事録には掲載されません。よろしくお願いいたします。</p>
岡田係長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以後の議事進行を池浦会長からお願いします。</p>
池浦会長	<p>それでは、副会長の選出についてですが、会長選出と同じく互選により行うこととなっておりますので適任の方がいらっしゃいましたら御推薦をお願いします。いないようであれば、会長の私から佐藤隆司委員を推薦したいと思いますと思いますが、ご異議ございませんか。</p>
	<p>(異議なし)</p>
池浦会長	<p>異議ないようでありますので、佐藤委員から副会長をお願いしたいと思います。佐藤委員におかれましては副会長席にご移動いただきたいと思っております。それでは、副会長就任のごあいさつをお願いします。</p>
佐藤副会長	<p><b>【就任あいさつ】</b></p> <p>懇談会の趣旨に則って会長の補佐をしながら進めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>

池浦会長	それでは、議題に沿って進行します。 「2 議題 (2) 文化振興基金を活用した文化振興事業の実績について」です。事務局から説明願います。
岡田係長	(議題資料に基づき説明)
池浦会長	これについて質問・意見はありませんか。
橋本委員	文化振興基金の減り方について、このままで推移した場合おおよそ何年後に枯渇しますか。
岡田係長	今のペースで 300 万円前後で取り崩した場合、10 年以内には枯渇すると思われます。基金の残高がある限り、文化振興事業に充当していきたいと考えておりますが、枯渇した場合は、一般財源や他の財源を元に文化振興事業を継続することについて検討することになります。現在、文化振興に役立ててほしいという寄附者がいた場合は文化振興基金への積立てを御案内したり、芸術鑑賞ツアーの参加者に文化振興基金を PR するチラシを配布しております。
永桶委員	文化振興基金を使って儲けることを考えても良いものでしょうか。例えば、著名な音楽家のコンサートを企画し、客席を満員にして支出を上回る入場料収入を得て、その差額を文化振興基金に積み立てるといったイメージです。
岡田係長	今までにないアイデアだと思いました。著名な音楽家のコンサートを開催するとなると、仮に入場料収入が期待できるとしても、多額の予算措置が必要となります。そのため、入場料収入の見通しについてはある程度シビアに設定する必要があると思いますが、検討する余地はあると思います。
西村委員	文化振興基金に積み立てた寄附金について、いずれも個人からでしょうか。
岡田係長	個人や公民館で活動される文化団体からの寄附です。企業はありません。
西村委員	企業から寄附を募ることはできないのでしょうか。企業にとっては寄附控除のメリットもあると思います。
恋塚課長	企業も様々なところから寄附をお願いされたり、また、企業の自発的な意思で様々なところに寄附していたりしますので、簡単ではないと思います。単に広く呼びかけるだけでは効果がないと思います。
西村委員	わくわく文化未来塾の人数の集計表について教えてください。回数、受講者数、延べ参加者数の関わりはどうなっていますか。
恋塚課長	各回の参加者数を足し合わせたものが延べ参加者数となります。受講者数は実際に申し込みのあった実人員です。
田村委員	わくわく文化未来塾の公募講座はどのようなものがありますか。
中野一般任用主事	わくわく文化未来塾の公募講座は 5、6 件あります。フラワーアレンジメントやよさこいなどがあります。
椛澤委員	わくわく文化未来塾の公募で申請された講座については審査がされ、落ちるものもあるのですか。
岡田係長	審査で落とすことはなく、公募で申請されたものは基本的に参加者の募集を行っております。ただ、俳句や尺八については参加者の

	募集をしましたが、これらは最少催行人数が3人のところ、参加者が集まらず開催できませんでした。
池浦会長	<p>他にないようでしたら、本日はこれで終了となります。委員の皆様におかれましては長時間大変お疲れさまでございました。スムーズな進行に御協力をいただきありがとうございました。</p> <p>なお、本日の会議記録につきましては、生涯学習課職員が作成した記録に基づき、私と事務局が確認の上、会議録として調整させていただきますので御了解ください。</p>